

第5号

北見商工会議所青年部広報紙



トライ

平成15年度 北海道ブロック大会 主管決定!!



2002年

8月

屯田大綱引 優勝賞金100万円の行方は?



北見商工会議所青年部事務局 〒090-8710 北見市北3条東1丁目 北見経済センター内 TEL(0157)23-4111・FAX(0157)22-2282 E-mail syokokac@okhotsk.or.jp

北見商工会議所青年部

会長 舛川 誠



早いもので平成十四年も八月にはいりました。会長としてトライの原稿も2度目となり、最近しみじみ時の経つのは早いものだと感じております。今年を振り返りますと1月年明け早々に三役・正副委員長の選任、委員会配属をさせていただき、2月には事業計画・委員会方針並びに活動計画・予算の審議、3月には要覧・拡大パンフレットの作成等、三ヶ月間は新年度をむかえる準備であつたという間に過ぎてしまったと言うのが実感であります。その間各委員も新委員長を中心に大変よく動いていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、4月新年度のスタートとなる例会は研修委員会に担当していただき、異業種ネットワークである青年部の特質を生かした、会員が講師となつたすばらしい例会を開催してもらいました。

総務広報委員会には5月商工会議所の活用をテーマとして開催していただき、我々会員が会議所の事業内容を理解し、今後の自社の経営にも役立つ例会となりました。6月親睦委員会は委員会対抗春の親睦運動会と銘打ち、委員会対抗で様々な競技を競い合い、楽しみながら、各委員会の結束を更に深めてもらいました。そして7月はほんちまつりを盛り上げるべく電田大綱引き当日を例会日として、引き手・運営と大勢のメンバーにご参加をいただき、今年は無事に終了いたしました。特におまつりプロジェクトチームのメンバーには、綱部会の中心となり、新しい企画で近年になく電田大綱引きを盛り上げていただきました。改めましてこれまでの活動に対し全メンバーに心から御礼を申し上げます。さて、八月から年内は毎月の例会・行事の他に近隣青年部交流会・道東地区協議会合同例会・全道ブロック大会・全国大会も開催され、更に青年部活動も忙しい時期に入つて行きますが、私も会長として精一杯活動させていただきますので、会員の皆様の更なるご協力とご参加をよろしくお願い致します。

平成15年度 商工会議所青年部 北海道ブロック大会 主管決定

全国商工会議所青年部連合会では、毎年各ブロックにおける連携、強調、研鑽を目的とした大会を開催しております。

北海道商工会議所青年部連合会では、今年度の留萌大会に続く主管青年部を選定しているなか、当青年部に対し正式な指名があり、七月二十四日の臨時総会において、平成十五年度商工会議所青年部全道ブロック大会主管についてご審議をいただき、満場一致の拍手にて次年度の主管が承認されました。

そこで、七月二十七日開催の北海道商工会議所青年部連合会理事會において、北見YEGが次年度の主管青年部に正式決定いたしましたのでご報告いたします。

事務局

新入会員紹介



板垣和浩会員は、北見信用金庫本店の営業課長です。前任の増子会員と交代という形で入会されました。昭和37年生まれで39歳。北見に来る前までは留辺蘆の商工会議所青年部に席を置き活躍されてきたそうなので北見YEGにも力強い会員と思えます。板垣会員は信金の二本柱の「渉外・営業・融資」の総てを経験し、歩く銀行マン?と北見では騒がれる予定です。北見信金での目標は地域密着型の銀行を目標とし、「一店舗一員献活動」として、老人ホームのお祭りの露店・養護施設の散歩の世話・独居老人の冬支度の準備等をしているそうです。趣味は飲みながらのビデオ鑑賞で、今年の目標は昨年胃潰瘍で断念したキャンプだそうです。家族構成は奥さん・小6・小2のお子さんの4人家族だそうです。ペイオフ制度の事なら是非、北見の北見信金にお任せ下さいとのことなので宜しくお願いします。

取材 市川 隆博



平井良紀会員は、元々の出身は栗山町だそうです。緑あつて大学時代を北見で過ごし、よほど北見の水があつたのか、卒業後も北見のスタックや酒屋でバイトをされて現在の事業の下積みをされたそうです。家族は、奥様と娘さん2人の4人暮らしで、趣味はその家族を乗せてドライブに行くことと、映画を見に行くことだそうです。最近では「千と千尋の神隠し」にとても感動したそうです。それと回数はないですがゴルフもされるとのことなので、ゴルフサークルのメンバーが1名増えそうです。最後になりましたが、平井会員はエイトビル6階で「EIGHT」と「2nd of BE」の2軒の異なる雰囲気をもつスナックを経営されております。どちらも数多くのお酒とサイドメニューを揃え、クールな雰囲気と低料金で遅くまで「お客が帰るまで?」営業しているそうなので、飲み足りない時・小腹が減った時・泥酔したい時?は、一度立ち寄ってみてはいかがでしょう。

取材 廣木 保博

松井順仁会員は清月町5-5にある(株)ワカバ堂の代表取締役専務です。会社のキヤッチフレーズは「困った時のワカバ堂」との事です。この言葉の裏には旺盛な開拓者魂とチャレンジ精神に溢れているものを感じます。(にやつと笑った笑顔がとても爽やかでした)主力商品はスクリーン印刷で、よさこいでお馴染みの法被や交通安全の幟、ステッカー等々の実に幅広い商品群です。一枚からの受注もOKです。世界に一枚しかないオリジナルのマイパンツはいかがですか?家族で揃えるのもまた良し!!ご家族は一男一女に妻一人?です。スポーツは何でもOKですが最近では溪流釣りに凝っています。幻の魚イトウを釣り上げたこともあるとか。(勿論キヤッチ&リリース)。最後に好きな言葉「何時までも有ると思ふな親と金!!」(お見事!!!???)益々の活躍を期待申し上げます。

盛夏

取材 小原 義広



廣木保博会員は6月入会の最もフレッシュな新入会員です。北見に生まれ育ち、大学時代を東京で過ごした後北見に戻られたそうです。北見に戻られてからは、北見東急インに2年間お勤めの後、実家の農業を経営したそうです。その後、29歳の時に一念し、行政書士試験を受験し、合格後30歳で現在の行政書士事務所を開業なさいました。会員の皆様には「会社設立の際はご相談ください」とのことです。また、平成4年には不動産賃貸業の有限会社テイクワンを設立され、現在この2つの事業で活躍なさっています。趣味はゴルフとパソコンで、ゴルフサークルには是非参加したいとのこと。また、入会動機でもあります。趣味のパソコンを活かして商工会議所青年部のホームページ立ち上げに参加し協力したいとのこと。坂野委員長にも大変頼もしい会員の入会となりました。パソコンはあくまで趣味の域なので、今後はより詳しい会員の方にご指導願いたいとのこと。

取材 五十嵐 龍

北見ぼんちまつり 屯田大綱引き



例会報告

四月例会
研修委員会

このあたりが企業の「力」に学んだものから本年度研修委員会の最大の課題は、会員それぞれの持つ情報を共有化

しよう！という事です。情報の中味は知恵やノウハウだけではなく、悩みや勇気や心構えなど企業リーダーとしての共感と相互啓発を促せるものでありたい。そんな思いから取組んだのが、本年最初の四月例会でありました。会員自体が講師となり、自らの企業の取組みを語ってもらった。今までにない形式で「はたしてどういう結果になるのか」と不安の内にも開催した例会は、講師お一人(株式会社コージの細野社長、みのるラジエーター北見の太田社長)の類稀な個性と極めて前向きな事業活動の中味に接し、大きな勇気とやる気を分けていただく結果となりました。

若い従業員達にプロフェッショナルとしての自覚と実力を付けさせようと、日々高いテンションを持って企業活動を展開する細野さん、アルミ加工というコアな技術とリサイクルへの熱い思いを語ることで全国の若手業者を結集させた太田さん。お二人に共通することは、自社の商品や技術に対する並々ならぬこだわりでありました。「万事徹底」とは即ち「万事徹底」、経営者として決して中途半端に甘えない。そんな強い気構えに触れた例会であったと思います。あらためて、お二人に感謝を申し上げます。

研修委員長 長南 進一

五月例会
総務広報委員会

五月例会は「商工会議所を活用しよう」というテーマで開催し、会員に北見商工会議所の大まかな事業内容、会

員企業発展の一助となる利活用について吉田事務局長と寺田指導部長にご協力をいただき、資料に基づき内容を詳しく説明、その後会員から質疑応答の形をとりました。北見商工会議所の青年部として一度は例会で取り上げたかった内容でしたが、ビジュアル面が工夫が足りず例会内容をちよつと理解させられなかったのでは？とその後委員会にて反省をいたしました。委員会基本方針にある「あなたにとってY.E.G.会員であるメリットは？」この問い掛けのひとつの答えが、自社企業にとって商工会議所を上手に活用する方法を知っている。そして企業経営の研鑽へつながり、目的とする北見商工業の振興発展に寄与できれば素晴らしいことだと思えます。二人でも多くのメンバーがこの例会をきっかけに、北見商工会議所の事務所を気楽に訪れ利用するよう願っております。本例会に快くご協力いただいた吉田事務局長と寺田指導部長にあらためてお礼申し上げます。

総務広報委員長 坂野 裕樹

六月例会
親睦委員会

我々、親睦委員会はスポーツを通じて会員相互の更なる結束を深めるため、6月例会において委員会対抗運動会を実施

いたしました。大きな怪我もなく無事終了できたこと、また体を動かすことで会員の皆さんに心地よい汗をかいていただき、喜んでいただけたことを担当委員会として嬉しく思っております。また、今回の企画・準備においては必ずしも楽な作業ではなかったように記憶しております。あわせてご尽力いただいた親睦委員会各メンバーの方々に感謝申し上げます。競技内容においては「個人戦と「団体戦」に分けておこないました。中でも団体戦のソフトバレーは皆さんに好評を頂いたのでないかと思っております。団体戦では総務広報委員会が優勝し、また個人においては親睦委員会の川島さんが「主催委員会なのに」優勝し、賞品である蟹等の詰め合わせ(時価〇万円相当)をゲットいたしました。今回用意したトロフィーは勝利チームである総務広報委員会が勝ち取りましたが、このトロフィーをまた別の委員会が勝ち取っていく、毎回の争奪戦となるような企画を今後も立てていきたいと親睦委員会では考えております。今後多数の参加・協力を御願ひ申し上げます。

親睦委員長 中川 勝一

七月例会
サマーフェスプロジェクト

今回当青年部では屯田大綱引きを担当し来年のぼんちまつり50回記念の布石となるよう準備を進

めて参りました。屯田大綱引きが祭りの目玉となるよう初の優勝賞金100万円が用意され、参加者も100名もの3チーム集まっていたいただき綱を引く手にも力がこもり目の前には福沢諭吉がチラついていました。に見受けられました。

当日はあいにくの小雨にもかかわらず多数の応援をいただき100人目の力を感じる事ができました。プロジェクトチーム発足から当日までリトチームの松原事務局長においては苦悩の絶えない毎日だったと思います。また当日の大綱引きには青年部から約20名の参加をいただきありがとうございます。ございました。

最後に大綱の巻き取りが1発で決まったこと！これは第50回ぼんちまつりの「光」の始まりだったのでないでしょうか？

サブリーダー 高間 相宏

屯田大綱引き結果

優勝	チームナベシマ工業	二勝〇敗
準優勝	チーム北見青年	一勝一敗
第三位	チーム企業連合	〇勝二敗

編集後記

四月の新体制スタートから早四ヶ月、年三回発行予定の広報誌TRYもようやく新一号(第五号)発行の運びとなりました。この四ヶ月で各委員会がそれぞれの担当例会を開催し、年に一度のサマーフェスプロジェクトを終えて、皆様にも確かな手応えが残り二巡目へ向かう例会もよりパワーアップした企画が目白押しとなることでしょう。楽しみます。さて、今号発行に際しましてはわずかな時間にも関わらず原稿依頼に快くご協力頂き誠にありがとうございます。北海道の短い夏もあとわずかです。存分に楽しみたいものです。

総務広報委員 五十嵐 龍